[illegible]に於ける成人教育

社會教育叢書

第二十八輯

文部省

0052761000

0052761-000

259. 5−60

社会教育叢書

文部省社会教育局・編

文部省社会教育局

第28輯

昭和7

AHP

社會教育叢書第二十八輯

獨逸に於ける成人教育

發行所寄贈本

昭和七・三・一〇 帝圖 寄贈

259.5-60

凡例

茲に本叢書第十輯に於て「獨逸に於ける成人教育」を紹介してから既に六年になる。其の間、彼の國に於ける一般社會狀態の變轉は云ふ迄もなく、該事業の進展も見るべきものがあるので、本輯は新しい資料に基き、同じ題目の下に改めて其の最近の情勢を傳へ、以て我が社會教育上の參考に資せんが爲に刊行頒布するものである。

昭和六年十一月

文部省社會教育局

目次

一、成人教育の條件……一
二、成人教育の運動と組織……五
三、民衆圖書館制度……一〇
四、民衆大學制度……一七
(イ) 民衆大學塾……一七
(ロ) 夜間民衆大學講習……二一
五、成人教育に於ける藝術、音樂、郷土、職業……二八
六、映畫、ラヂオの成人教育に對する關係……三一
七、民衆教育者の養成……三三

獨逸に於ける成人教育

一、成人教育の條件

成人教育は、既に少くも五十年の歴史を有するのであるが、然し歐洲大戰後に至つて始めて詳細な研究がなされる樣になつたのである。この結果として、成人教育の意義及びその活動の範圍が明にせられたのであつて、卽ち今日始めて成人教育は、それ自身能動的に働きかけ、一つの運動として公的、社會的、文化的生活に於て重要視せられるに至つたのである。斯る進展の原因に就て今此所に論說することは出來ない。その根ざす關係たるや深遠であり、從つてこれを明かにするためには、文化的、社會學的、敎育學的、政治的な凡ゆる事情を解剖しなければならないであらうし、又到底限定することの出來ない種々の事柄に關する問題を生ずるであらう。故に此處には單にその結果を概說し、以つて現在達せられて居る狀況を明かにせんとするに止める。

成人敎育なるものは、その名の示す如く成人を敎育せんとするものであつて、卽ち彼等をして陶冶財、文化財に與らしめ、且つ人生問題及時事問題に就て、一層深き理解を得せしむべき途を指示せんとするのである。高等諸學校及大學敎育は限られたる範圍の者にのみ開放せられて居るものであり、且つ又或程度他の目的をも有するのであるから、「民衆敎育」は主として勞働者、被傭人及び農民、卽ち社會的に不遇な地位にある階級を對象とし、從つて學校敎育を擴張し、深めることを目的とするのである。學校敎育が單なる知識と敎材との習得に止まらずして、近代的な勞

作教育に於て若き人々を内的に啓發せんとすると同樣に、成人の場合にも、最初からその背後には人間陶冶の目的を、明白に認めることが出来るのであるが、併し勿論表面的には多くの場合に、一定の世界觀的、宗教的或は職業的な着色に依つて、夫々社會學的な特質を有する全々異つた目的が形式上現はれるのである。卽ち常に社會的若くば國民的に固定した類型卽ち紳士、公民、信徒、階級意識を有するプロレタリアート等に教育の目的を置かんとするにあるのである。獨逸に於ては革命以来初めて國民の各階級の精神的自立の内的條件なるものが生ずるに至つたことは疑なきことであつて、統一學校（Einheitsschule）の制定及び資格制度の打破と相俟つて、實際的な民衆教育に道を拓くに至つたのである。然し、このことを以て直ちに、民衆教育は一般的な教育目的を民主的社會内に見出したものと云ふことは出来ない。卽ち各種の世界觀及び政治的權力團體が種々雜多に存し、錯綜して活躍して居るのであるから、斯ることは不可能であり、又望まるべきでもないが、然しこれを以つて、事實上、現代に於ける教育事業、卽ち詳しく云へば公の利益のために主張し得べく又主張せらるゝ教育事業の一大分野の出發點若くば公分母が與へられてゐるものと云ふことが出来るであらう。凡そ教育事業は獨逸憲法第一四八條第四項に規定せられてゐる如く、國、邦及公共團體の督勵すべきものであつて、國、邦、公共團體は、教育事業の認定、財政的援助、公的建造物若くば此の目的の爲の諸施設を無償にて給與すること、並びに各省及都市行政に於て、これに關する各部門の報告をなすこと等に當らなければならない。然し乍ら一方、民衆教育に一定の方向、教材、分科及び課業を指示すべき法律的規準が存しないのである。卽ち民衆教育は「自由」なのである。換言すれば民衆教育は現在ある儘の狀態卽ち自ら設定し、自ら認識した任務の範圍内に於てなされるのであり、又樣々の今日生命ある世界觀の活動舞臺に據ることが出来るのである。卽ち「中立」なることは此場合實際には問題にならないのである。何となれば聽講者（勞働者、農民、市民階級）の社會的構成、及び時としては補助金を與へる官廳の政治的勢力が、先づ第一にこの仕事にその特種な性質を與へるが故である。更に又嚴格に中立を守らんとしても、それは政治的　世界觀的に成熟せる成人に對しては、事實上貫徹することは不可能である。何となれば、斯ることは特異點を無差別的に扱ふことに成つてしまふからである。民衆教育事業は寧ろ多くの場合に於て——實驗科學は例外として——政治的意思陶冶及世界觀的信念をも取入れるべきである。固より何れかの既成の黨派の掌中に陷らんが爲でなく、聽衆及び讀者をして、屢々錯綜して居る文化的、經濟的、社會的情勢の過程を知らしめ、依つて以つて自らの研究に資し、信念を持たしめんが爲である。如何なる傾向のものにせよ、凡ゆる民衆教育は、自らその事業を上述せる意義に於て實現すること、他の立場に對しても理解を促すこと及び單に公平に所信を述べると云ふことでなく更に問題を充實し透徹せる理解によつて眞價を認めしめんとする點に於て一致して居るのである。

　成人教育が上述せる如き條件及び目的に應じて、その獨立性を有するに至つたことは更にこれ以上詳說する必要は存しない。成人教育は昔の市民的な「教育」及びその人道主義的な規範とは殆んど關連しては居らない。何となれば今日では斯る要求は極めて微弱であり且つ引續いて衰微しつゝあるのであるから、斯る方法に依つて彼等の教育をなし来たつた市民階級はこの公的な教育手段から殆ど若くは全く除外せられてゐるのである。又民衆教育は種々の點に於て科學とも行き方を異にする。固より民衆教育に於ては、本格的な研究がなされることなく、從つて純客觀的關係も直ちに生活的關係に關聯せしめられるのである。卽ち科學は、專門的な豫備知識を持つ職業そのものゝ目的であり、民衆教育は日常の必要より生ずる餘暇の仕事である。民衆教育が「通俗的表現」として、科學上の收獲を極めて平易化したもので滿足して居た時代は過ぎ去つたのである。更に又民衆教育は勞働の特質を強調する點に於て、明かに娛

業とは對立して居るのである。然し實際に於てこの限界が如何なる程度まで考へられるかと云ふことは、一概にこれを論ずることは出來ない。往々勞働を自由にすることによつて弛を生じることがある。これは意識的なると否とに係らず自然單なる暇潰しとなり、或は他面に於て、徒黨的、宗派的な教育になつてしまうのである。純訓育との限界は最も一樣でない。實際的な教授（正しい國語、算術、外國語）は、ある階級からは全く抑制し或は拒否せられて居り、ある階級からは意識的に中心的なものとされて居る。民衆教育の最も端に位するものは寫眞術若くばタイプライター講習の如きものであるが、これ等のものは、今日人氣を得ることは確かであるが、然し民衆教育と云ふ方面からは、顧みられなくなり始めてゐる。

忽がせにせられた學校教育を取戻す機會がどの程度まで成人教育中に存しなければならないかといふこと、又職業學校に對する限界を奈邊に劃す可きかと云ふことは、實際と同樣になほ多くの理論の存することなのであるが、然しこのことは恐らく日未だ淺き職業學校制度が一層確立せられるに至るを俟つて自ら定まるべきことであらう。

自由民衆教育に就て此處に述べたことは大體に於て又（世界觀的に）一定の主義の上に立つ各方面の民衆教育にも當嵌まる。唯此の場合には、一定の目的及び獨自の氣風に對する關心が一層確然と又、切實に表示されるだけのことである。カトリック教民衆大學は實際的な方面は問題にしてゐないが、社會主義的黨教育學校（Eine sozialistische Partei-Bildungsschule）はその黨員を造上けようと云ふのであり、專ら實際的に教育をして居る。この方面に於ては、一般的な標準は殆ど擧げられない。何分にも樣々な組織、利害關係があり、その各々の目的とする處も異り又程度の差も存することであるから、一概に云ふことは出來ないのである。然し次章にて最も顯著な現象を指示しようと思ふ。總てに對して共通なことは公的資金より金錢上の援助を享け若くば享けんと努力して居ると云ふ一點である。

二、成人教育の運動と組織

今日成人教育なる名稱の下に總括せられて居る各種の事業並びに組織形態――それは例へば遊技團體から寫眞の貸與に至るまで、或は又市の圖書館から農業民衆大學に至る迄の總てを含むが――は、局外者には、せめて表面的な現象の見當だけでもつけることの出來る一定の指導的な標準を見出さない限り、全く手の着けようもなく、單に外形的にのみ集合してゐる雜多なものと云ふ印象しか與へないに相違ない。然し乍ら成人教育が、他と截然區別せられる程進出して居り、又――正當に――その眞價を認められて居る狀勢を想起したならば、實際には、斯る標準を見出すことは容易であらう。歐洲大戰終結後、從來の文化價値及び教育組織が問題とせられた時に、現存する教育材を其儘採用して、從來通り國民全體に普及せしめることが目的に合致するものであるか、或は、國民の必要といふことから出發して、間に合せ的な性質を帶びざる改善方法を見出さねばならないものであるかどうかと云ふ問題が起つて來ないわけにはゆかなかつた。此處に於て二派に分れ、一方には擴張的な民衆教育なる從來の傾向を追ふ者が立ち、他方には、形成的な民衆教育なる旗印の下に進出しつゝある者が立つた。後者は主として民衆大學の問題に關與して居り、別段の確定的な定款及び綱領なるものなく、ホーエンロート同盟(Hohenroter Bund)を成して居る。此等のものに共通なるものゝ一つは、眞摯なる意思卽ち民衆教育の問題を熱心に督勵し、今日の安價な文化の酒杯の中から立派な民族文化への途を指示せんとする意思である。然し斯る問題を考究するに當つて、屢々一つの缺陷に逢着した。それは成人教育の客體卽ち人及び民族が、この方面から未だ充分に研究せられて居ないと云ふことであつた。この理論を事實と經驗に依つて確實にせんために、ベルリンに獨逸民族研究成人教育學院（Die Deutsche Schule für Volksforschung und

Erwachsenenbildung）なるものが設立せられたのである。而してこの學院の任務に關して、この方面の精神的指導者、即ちプロイセン文部省の民衆教育調査官（Volksbildungsreferent）故エル・フオン・エールトベルク（R. v. Erdberg）は次の如く言つて居る。民族研究は「先づ第一に民族中に尙生命を有し、民族を形作り、文化を創造する力を認識し、その力がどの程度まで意義を持つか、又持ち得るかといふことを知らねばならない。又民族研究は斯る力の主義傾向を批判しなければならない。民族研究は又、近代國民經濟各部の民族破壞及び民族形成に及ぼす影響を研究し、批判しなければならない。又明らかにされつゝある民族的生活の新らしい諸形式を槪觀し、その有する意義を評價すべきである。就中民族研究は、全體としての民族、及び各階級、各地位若くば職業に於ける民族を、その本質的な特性に從つて研究しなければならない。即ち正に、生成しつゝある新文化の源泉そのものを見出さなければならない。民族研究にして、これ等のことを實現したなら、如何なる範圍に於て客觀的文化一般が、尙統一的民衆教育に役立たしめ得られるかと云ふことを研究しなければならないし、又今日所謂文化所得として一般に廣く稱讃せられ、何等の批判なく取入れられてるものゝ多くが、民族建設よりは寧ろ民族破壞的なものとなさるべきに非ざるやをも研究しなければならない。」

民衆圖書館の領域にて、二十年來、ワルテル・ホーフマン（Walter Hofmann）の指導の下に、ライプチヒ派の採つて來た方針は、全く上述せることに照應してゐる。民衆圖書館に關する正確なる學說及び司書官の必要とする教育のために、讀者及び書籍知識研究所（Institute für Leserkund Schrifttumkunde）と圖書館學校が骨を折つて居るし、又斯る施設の擴張のために、獨逸民衆圖書館中央事務所（Deutsche Zentralstelle für volkstümliche Büchereiwesen）が世話して居り、總てライプチヒにある。然しシユテツテイン（Stettin）圖書館長エルヴイン・アツケルクネヒト（Erwin Ackerknecht）の麾下にある反對の立場の人々は、斯樣な行き方を餘りにも固苦しく、且つ學說の過度の尖鋭化であるとして非難し、自由主義的人文主義の精神にて「各個人の成長」に、更に廣い活動の餘地を與へんとしてゐる。即ち民衆教育事業によつて精神作興を計らんとする考に、益々擴がりゆく諸傾向をかなりな寛容を以て迎へる態度を加へるのである。

今日に於ては、斯くの如き派の爭は、相異れる立場の存續してゐるに拘らず、相離反するものを强調する事より共同の目的に突進しゆく力の方が重きをなす所の、純實際的問題及びその解決が一層顯著に表面に現はるゝに至つたことに依つて次第に影をひそめる樣になつた。殊に最近かゝる學說上又はイデオロギー的對立は、屢々殆んど無價値なものとして消失してしまつた。加之、又或場合には立派な講演ならそれ自體が、技巧を弄しあれこれと迷つてゐる「勞作共同」よりも一層深刻な力を持ち得るといふこと、又その場合の一般貸出にも確實な相談をしてやることが出來ること、又先に改善方法と云つたが、どんなうまい方法を採用するにしても、尙自然的な教材仲介が求められ滿足されると云ふことが明になつた。

內省及び激しい論議は、成人教育本來の任務及び限界を認識し、かくて多くの施設をして常に活氣あらしむるに役立つて居るのであつて、固より成人教育に何等の不利益を來たして居ないことは確であるし、又世界觀的に、宗教的に政治的に一定の主義の上に立つ各種の事業が、自由民衆教育の行き方から學ぶ所大であつたことも明らかである。斯くの如くして、先に我々が、大戰後に民衆教育運動の劃線をおいた理由も、自から了解せられるであらう。

ボツロモイス協會（Borromiiusverein）は數の上から云へば、獨逸最大の私立圖書館組織であるが、これは八十五年

に亙る歴史を有し、カトリック讀者に適切な圖書の純粹な「普及」をなすことを目的として居る。尚獨自な圖書館司書學校を設けて居るが、この學校はライプチヒに於ける實習と相俟つて、定評あるものである。又ライプチヒのシステイムに從つて、屢ゝ勞働者及職工組合圖書館（Arbeiter- und Genossenschaftsbiicherei）が設けられて居る。又カード、檢出設備が小私立圖書館にも擴まる樣になつたことは近代圖書館運動のお蔭である。

其他に公益的な事業、團體及び協會を擧けなければならない。此等のものは多かれ少かれ全教育制度中に包括せられるのであり、少くもその機關雜誌を通じて夫々特種の目的遂行に當つて居る。民衆教育協會（Gesellschaft für Volksbildung）は一八七一年に自由主義的な見地にて設けられたのであるが、別段一定の方向と云ふものを定めずして、大體次の如き事をその任務として居る。即ち圖書館を設立して、安價に圖書を給與する事、古本の賣買、講演會の開催或はその仲介、講演協會の後援、巡回講師の派遣、寫眞及び映寫器の貸與、賣却、製作、書籍その他に關する相談、指圖等である。この民衆教育協會は數千の直接所屬會員及び教育協會を有し、先述の民衆教育擴張と云ふ立場から活動して居る。コメニウス協會(Comeniusverein)は哲學と生活との結合及び全世界の文明國民間の橋渡しのために作られたものであり〔機關雜誌、精神文化（Geisteskultur)〕、カトリック教獨逸國民會（Der Volksverein für das katholisches Deutschland）は、社會に於けるキリスト教的秩序、社會的任務の教示及び社會革命運動に對する抗爭を目的として居る。この協會は九種類の機關雜誌を有して居り、その內三種は特に婦人のために用ひられて居る。

社會主義的な考は「自由社會主義大學」（Freie sozialistische Hochschule）及び社會主義文化同盟（Sozialistischer Kulturbund）による社會主義教育の國家委員會に依つて代表せられて居る。而してこの社會主義文化同盟は、凡ゆる社會主義的團體及び勞働者教育事業を包括して居り、勞働者階級の有する凡ゆる文化的創造力の覺醒促進を目的と

して居るのである。此場合最も重要なる雜誌として「社會主義教育」(Sozialistische Bildung）を擧けねばならない。フイヒテ民衆大學（Fichte- Volkshochschule）を有するフイヒテ協會(Fichte- Gesellschaft）は大體國民的立場に立ち、新教民衆教育委員會（Evangelische Volks- Bildungsausschuss）は、雜誌「Eckart」にて廣汎な圖書相談を行つて居る。最後に、共和國鄕土奉仕本部（Reichszentrale für Heimatdienst）を擧けねばならない。これは特別なる講演、教程及び職工、官吏、教員のための會合等を通じて對外政策的、經濟政策的、社會的、文化的問題に關する闡明に國家全體なる立場から役立たんとしてるのである。

各集團の職工組合教育部は被傭者及勞働者職員といふ狹い職業範圍に限られて居るのであるが、プロイセン國家により設置せられたる教育及授業中央協會（Zentralinstitut für Erzieung und Unterricht.）は最初から公的教育を對象とするものであつて、從つてその結果として成人教育に及ぶのであるが、殊にこれはラヂオ部、藝術部及び映畫鑑賞のための映寫部をも有するのである。

これ等上述の凡ゆる組織は、何れも民衆大學及び圖書館に於て、素材と一層密接な關係をなして現れて來る主流を代表して居るのである。即ちそれは政治的對峙の拮抗に於て、文化的活動を惹起すべき力を豫想せしむるものであつて、若し單にその弘布及び「講演制度」のみを自己目的として居るなら、それは全々過去の殘物たるに過ぎないのであつて、次第に存在の理由を失ふであらう。この故に要約すれば、次の如く云ふことが出來やう。即ちイデオロギー的な契機が常に成人教育の出發點をなすのであるが、而しこれと牽連して實地の或種の形式及方法が生じ、これによつて世界觀的な對立を害ふことなく、組織的な横斷的合同が形成せられ、依つて以つて自主的民衆教育論が益々確立せられるのであると云へやう。若し我々にして過誤なきものとしたなら、此の場合も亦將來への一つの繫索が存

するのである。圖書館と民衆大學より出發して、映畫、ラヂオ、及びレコードは少くも何れか一方より取入れられて一層利用せられるであらう。

三、民衆圖書館制度

各種の民衆教育方法中先づ第一に圖書館制度を擧げねばならない。固よりそれが最も古いものであると云ふ理由からのみでなく、最も實質的であり、且つ最も完全に組織化せられて居るが故である。大多數は市町村がこれを維持し、且つ國家により後援せられ、民衆大學に比して一層充分なる補助を受けて居るのであつて、その投ぜられてゐる可成の資金、建造物及び長官の有する多くの權能により、國家的事業の特徵を有するものである。圖書館の利用者は、通常相當の期間に亘つて繼續し、從つて、その關係は恒久性が得られるのであつて、殊に圖書を所有してゐる階級の大部分及び政治的に活動してる人の殆んど總てを除外して考へるのであるから、通常、圖書館で讀書する者が全住民の二%なる數字は確かなものと言へやう。然し乍ら民衆圖書館なるものは、それが三十年乃至四十年前に於けると異り、決して貧民事業若くは福祉保護事業ではないのであつて、最も進歩した方法に依つて民衆教育の精神にて活動してゐるものなのである。民衆圖書館は科學圖書館と名稱の一部だけを共通にして居るに過ぎない。何となれば一方科學圖書館では藏書の完備といふことが重點をなして居るのであるが、民衆圖書館にあつては書物を愼重に選擇すること及び如何なる樣に、又時に應じてどれ位に多くの同一書物を利用者の面前、つまり貸出に備へて置くべきかと云ふ事が中心となるのである。尙又讀者の教育的要求を集團的に研究すること、即ち社會的な階級、職業、年齡、性及び興味に從つて研究することも必要である。斯る讀者學は第一にライプチヒ派に依つて打立てられたのである

が、一つの組織的に研究せられた經驗の世界を要するものである。次に今一つ重要なことは、適當な書物を選擇して分類することである。一般に啓蒙的な部門からは、科學的な觀點及び乾燥無味な入門書は離隔せられるのである。而して世間一般から極く平易な叙述なることが要求せられて居るが、然し以前に好んでなされた通俗的表現は此の場合殆んど問題とならない。何者れば最も困難な問題を極く稀薄な平易なものに薄めることは、結局無價値な、皮相的なものにしてしまうことになるからである。寧ろ徹底的なことゝペダンティックにならずに明快なこと、及び眞摯なことは民衆教育的なるものゝ最も重要な規準である。必要なる範圍及び素材的な補充は讀者の自由に任すべきである。最近益々盛になつて來た近代的な民衆圖書館の要求と共に、この方面に於ける斯る要求に對應すべき全く新しい文學樣式を生ずるに至つたことは慶賀すべきことである。例へば歷史に就て云へば、一方には我々が以前使つた教科書の舊式の叙述を、他方にはランケ、モンゼンの標準書をとり、これとヴァン・ローンの人類史若くば「複合せられた人類」(從つて同樣民衆圖書館で用ひることが出來ない。)とを比較對照して見るなら如上の事柄は明かになるであらう。以前の旅行記は極めて無趣味であり叉手引式であつたが、而して今日では Paquet. Hege. Huelsenbach. Colin. Ross. Bengt Bergl Holitscher. Traven. 等のものがある。此等の著作には、嶄新なる觀察、報告、知識が實に混然として一體をなして居るのであつて、地理的な事實も政治的、社會的、文化的事實に依つて充たされて居るのである。即ち觀察プラス手引である。實驗科學に至るまでこの新しい書物の型を認めることが出來る。而して特に目立つて居ることは、例へば或民族の地理的な條件、社會的關係、藝術的發展を全々それ自體のために論述したアカデミックな科學的研究範圍の嚴格なる限界なるものは廢除せられて「交叉」して、民衆圖書館的な教育の前景をなす具體的な國家に關する知識の內に一體をなすに至れることである。「諸國と民族」「人と世界」「獨逸を圍る世界」「現代の藝術」(造形美術、寫眞、映畫、舞臺

藝術、ダンス、音樂、詩）「社會主義の世界」等は、夫々の事情に關連して、批判的な圖書目錄にて讀者に齎らしめられ、樣々の立場の者に效果あるべき書物と云ふべきである。以上は讀者に對して彼等に適切な書物を見さしめんがための準備であるがこの準備の最後に來るものは貸出のことである。而してこの貸出は、同時に讀書相談でなければならない。然し非常に多くの人々相手に事務を遂行するのであるから、どの程度までこれを實現することが出來るかといふことは、問題は別であり、多くの場合、主として貸出する圖書館男女職員の經驗と確實なる取扱如何に依存するものである。このことより絕えず發展しつゝある獨自の民衆圖書館學の意義の輪郭が明かにせられるであらう。

藏書を各方面に從つて出來得る限り價値あらしむるために各種の手段が講ぜられて居る。即ち上述せる圖書目錄と並んで、一定の機會に書物を陳列すること、時事問題（例へば、ガンヂーと印度）紀念日、ラヂオの設置、一定の講習、又この他に忘れられてしまつた書物を知らせるための朗讀の時間の如きである。

都市に在つては、既存の圖書館で充分であるが、地方及び邊境の地に民衆圖書館を普及するためには、一層大にして且つ組織的な手段を必要とするのである。このために多くの州及び郡の國立相談所が活動して居るが、これは既に二十九ヶ所に設立せられて居り、內、二ヶ所はカトリック敎ボッロモイス協會が自費で維持して居るものである。

固定的な型にはまつた圖書館が一般に基礎をなして居るのであるが、郡及市町村の移動圖書館（Wanderbücherei）も重要な意義を有するのであつて、現在の處百十七存してゐる。二、三の大都市では近來電車及び自動車上の運轉圖書館（Fahrbare Bücherei）に依つて、その郊外巡回をしようといふ試みがなされて居る。此等の場合屢々豫想外の效果を生ずるのであり、今更乍らラヂオ、活動寫眞全盛の今日も尙如何に圖書が價値あるものであり、又要求せられて居るかといふことが判る。五年前の驚くべき讀者の減退は今日復舊せるのみならず、その數は書物も圖書館職員の人

手も間に合はない程迄に增加するに至つたのである。

かく共通の事柄を研究したなら、その形態を先づ構成に於ける差異に依つて究めねばならない。多かれ少かれ戰鬪力を有する、換言すれば貸出さるべき價値あり、又世人の需要ある書物約一萬冊位備へて居る中位の大さの民衆圖書館は所々に存する。この外に大學の存しない大都市には所謂統一圖書館（Einheitsbücherei）なるものが特に設けられて居るのであるが、この圖書館は他の方法では滿足することの出來ない樣々の專門利益を考慮に入れて一般には要求せられない純粹な科學的著作物を相當完全に藏置し、加之、市誌（Stadtbücherarchiev）を完全にしなければならない。而して時の經過につれて十萬冊に達することがある。

又人口十萬人以上の都市では自然一種の分權制度が行はれ、一つの中心たるものと、これに依存する支所によつて形成せられる。大ベルリン市は總體にて約七〇ヶ所の貸出所があつて、これは場末の町の支所から中央區圖書館（例、シャルロッテンブルク、藏書約九萬冊）を含むのである。實際に役立つ圖書の數、從つて又相對的な圖書館の大さなるものは又不確定である。即ち或都市では住民十人に對して書物が一冊の割であるが、然し一人の讀者が五冊乃至八冊の書物を讀むのである。村の圖書館では精々の處五百冊以下である。

組織の相違に基くよりも、寧ろその傾向の相違に依る方が截然と區別することが出來る。即ちこれに關する論爭は既にライプチッヒ、シュテッティンなる言葉で述べたことであるが、これによつて初めて民衆圖書館事業の特別なる目的が考へられる樣になり明にされて來た。今日も尙「擴張」と「形成」の活動の對峙が存するのであるから、從つて各場合に於ける政治的な中間支配を全々問題外にしても尙この限度に於て如何なる種類の圖書、殊にその藏書數からしても又貸出數からしても半を占めて居る娛樂的、文藝的な文獻中如何なるものが最も優位に立たしめらるべきもので

あるかと云ふ問題に迄もこの對峙が作用して居るのである。無價値、虚僞、死物の限界は一方にては、例へばヘルツオークやクララ・フィービヒ等におかれ、他方にてはアグネス・ギュンテル等も含められ、更にある者は、ゾラやハインリヒ・マンに對して、教育價値、從つて又圖書館に於ける教育價値の存在を否定する。全く材料的なもの殊に多く要求せられてゐる社會小說の認容に關する問題は一般に大いに論爭せられてゐる。一八九〇年代の自然主義或は表現主義的文學が如何なる意義を有するかと云ふことは現代文學及び藝術史の比較論評同樣種々に取扱はれて居る。これ等凡ての論爭は、獨逸民衆圖書館長協會の年會に於てのみならず雜誌「圖書館と教育」(Bücherei und Bildungpflege) 及び「圖書館制度誌」(Hefte für Bücherei-wesen) にて取扱はれてゐる。

圖書閲覽室には未だ論及しなかつたが、これは多くの圖書館に附設せられて、教育事業の精神にて有用なる指導、擴張に資するのである。參考書及び入門書を有する小文庫の外に雜誌を備付けてある。斯くしなければ讀者は雜誌の知識を得ることが出來ない。又各方面の新聞も存するのである。而してこの場合、その主潮をなして居る圖書の選擇及び程度如何が、その圖書館の特色及び如何なる讀者を誘致するかと云ふことに對して決定的なものとなるのである。

公立圖書館なる形態は、その財政的基礎に考を及ぼすなら直ちに明になるであらう。ベルリンの如き大都市では全々手數料を徴收してゐないが、一冊に就て二乃至二〇片の貸出料では到底圖書館の管理卽ち汚點拔き、修繕、內容修正、製本等の費用の一部にも足らない。讀み破つた本の補充だけでも最も多く讀まれる本になると一年に備付圖書の一〇%を算する位である。加之、新買入書、増冊もあるのだから、圖書製本の管理及び職員に對する經常費が根本條件をなすのであつて、尙此の外に臨時の費用も必要である。この實際の費用は、例へばリューベックにては三萬マルクであり、デュッセルドルフ二十三萬マルク、ライプチヒ三十二萬マルク、ベルリン三十八萬マルクである。

盲者圖書館、監獄內圖書館、病院圖書館、保護所圖書館の如き特別なるものは、名を擧げるに止めやう。青年圖書館及び子供讀書室は民衆圖書館と協力して活動して居るのであるが、これは今此處で述べて居る民衆圖書館關係には入らないのである。音樂圖書館に就ては後で述べることにする。

民衆教育に役立つてる私立圖書館制度に就ては一言說明を要する。多くの教育團體の有する小圖書館は、これを一括して見極めることは出來ないが、これ等小圖書館の一大部分は先達ての不換紙幣濫發に際してその犧牲となつて倒れ、或は公の管理に移されたのである。カトリック教ボッロモイス協會(中心はBonn)は純然たる世界觀的な基礎の上に活動して居るのであるが、この協會は、その報告に依るに四千二百九十七の圖書館を維持して居るのであつて、その藏書數は三百五十萬冊に及ぶのである。一九二五年に於ける貸出延冊數は六百五十萬冊を算した。これに對し新教出版協會 (Evangelischer Presseverband)直屬の圖書館は一つの總括組織に統括せられては居らないから從つて詳細の程は判らないが、何れにしても大した仕事はして居ない。地方職工組合委員會所屬の勞働者圖書館は、純地方的に極めて有力に活動して居る。その技術的、組織的制度はライプチッヒ派の方針に近いものである。—— 大工場例ばジーメンス・クルップ(一萬二千冊) 等は屢々餘りに中立的に教育されてゐる被傭人のために固有の圖書室を有するのである。

私立の圖書館と並んで更に一層活動して居るのは、私立の圖書指導、普及の團體である。これに關しても亦ボッロモイス協會は圖書館司書學校及び特別なる雜誌を有して居り、又「新教圖書組合」(Evangelische Buchgemeinschaft)は適當な書物の仲介をなして居るし、又社會主義教育事業國家委員會(Reichsausschuss für sozialistische Bildungsarbeit)は雜誌「圖書展望」(Bücherwarte)を發行して居るのである。民族的良書普及會 (Verein zur Verbreitung guter volks-

tümlicher Schriften）は國境地及び外國に於ける獨逸國粹奬勵に努力して居り、又民衆教育會及びその廣汎なる圖書の普及に關しては既述せる處である。デューレルブンド（Dürerbund）は既に二十年前から安價な叢書、國民暦、小冊子等を出版し幾多の貢献をなし來つたのである。最後に重要なものとしてハムブルグにある獨逸詩人紀念財團（Deutsche Dichter-Gedächtnisstiftung）を擧げねばならない。これはその名に相應はしく、良き文献を奬勵し、その普及を容易ならしめ、民衆圖書館の設立、支持のために公の費用が準備せられてゐない場合には、圖書の陳列、圖書の寄附、出版、及び雜誌「言葉」（Das Wort）等により盛んな活動をなして居るのである。此の場合尚讀書子の世界に影響を與へんとし又事實影響を及ぼして居る最終の因子は、特有圖書獲得のための圖書組合である。然しこの組合は一面營業的な利益なることも一部加つてゐるものである。愛書家大同民衆團體（Der grösste Volksverband der Bücherfreunde）（會員約五十萬人）の外に獨逸圖書組合（Die Deutsche Buchgemeinschaft）、新教圖書組合（Die Evangelische Buchgemeinschaft）圖書團欒（社會主義的）〔Bücherkreis（sozialistische）〕があり、又グーテンベルク圖書組合（Die Büchergilde Gutenberg）（圖書印刷組合、社會主義的）及び共産主義的萬有圖書館（Kommunistische Universumbücherei）等設備の理想的なものがある。

四、民衆大學制度

民衆大學制度は成人教育運動の中最も不確定な形態を示すものである。その故は民衆大學にあつては、多くのイデオロギー的な目的設定が、精神的心靈的立場、地方的條件、職業上の地位等の多種多樣性と緊密に關連しつつ、教育者のみならず更に一層聽講者に關する事業と關係して居るからである。而して樣々な形式及び觀點が存するのであるから、論理的に嚴格な分類を爲すことは殆んど不可能の如く思はれるのである。

（イ）民衆大學塾

如上の事柄は特に民衆大學塾に當て嵌まるのである。民衆大學塾は一定數の人を集めて、一定の期間共同生活、共同勞作をなさしめるのである。然し獨逸國内にて名を知られてゐる六十八ケ所の塾の內で、塾精神の精神的、實際的な形態に注意を拂つて觀る時は、その基線の一致するものは先づ二つとは存しない位である。地理的に、これ等の大學塾は獨逸全國內に分布して居るのであつて、ハンノーフェル、シュレースヴィヒ・ホルシュタイン、シュレージエン、チューリンゲン等のが最も盛である。これ等の塾は、指導的勢力を持つては居るものの、現在のところでは種々の點からその存在が脅かされてゐる。ヴィチュ（Weitsch）の指導してゐるドライシヒアッケル塾（Dreissigacker）は四ケ月の講習を年二回、男女各別に催し、三十名迄のものに一時的な共同生活を營ましめる。一日の課業としては午前中には一時間講讀、二時間の授業、晝食後は校庭、野原、臺所、家內の集團的勞働、二時間の自習、及び夜間の音樂及び活動寫眞等である。ワイチュが或意味から中立と稱し、又著書の上でもそれを固守してゐる立脚點は、實際の上の熟練さを得させると云ふのでなく、寧ろ實生活の範圍に於ける責任と內的確實さと云ふ意味での個性を形成するにある

のである。參加者の内的狀態より出發して敎案が作られるのであつて、これは國民經濟、國家學、詩、世界觀宗敎觀の問題、藝術鑑賞、生活形成、並びに自然科學の限界をも含むのである。

チューリンゲン政府は社會主義職工組合と共同して、ティンッに塾を經營してゐるが、この塾は特に工場勞働者階級に屬するものゝ爲に小學校敎育をも授けるのである。社會的關係の知識が重用なものとされてゐるが、然し專門學校若くは黨學校でないことは明らかである。單に初級的な知識の範圍を除外するのみである。五十名よりなる參加者の一日の課業は大體に於てドライシヒアッケル塾の夫れと同樣である。

ハルリスレーエフェルト(Harrisleefeld)(北シレジヤ)の民衆大學は、政治的、職工組合的、團體的組織及び公共團體に於ける若き勞働者、被傭人の實際的敎育のみを目標として居るのである。而して斯る敎育目的を、イデオロギー的な感化によるべきでなく、立法、行政の技術、社會經濟的な相關々係の觀察、社會的機能の實行及び國際條約等に關する實證的、科學的な手引を授けることによつて達成せんとしてゐる。授業規則、週報告、グラフに依る說明等は最も嚴格に要求せられるが、これは又何人にも果し得ることである。基礎的な講習及び上級講習は各々五ヶ月間行はれるが、次でジャーナリスティックな試みや英語の練習がなされる。チューリンゲンにては更に一步進めた形態卽ちイェナ(Jena)にある市塾(Stadtheim)を擧げなければならないが、これと同樣なものはライプチヒ、ザールブリュッケン、ベルリン、テムペルホーフにも存するのである。十名の若い勞働者は、その職業につき乍ら、精神的敎養ある敎師と一箇年間共同生活を營むのであつて、各々が得た賃金の一部を出資して共同の經費で共同に家政をとるのである。一週中夜三日は敎育をなす時間に用ひる。その細目は、博物學、國家學、經濟學、社交の夕、及び旅行である。ノイディーンテンドルフ及びオーベルエレン(Neudientendorf. Oberellen)では農民大學と云つて居るが、キリスト敎的(新敎)國民的な根本思想に基いて居る。この學校では確かりした性格の、意思の强固な又判斷力ある人間を造らうとするのであり、又地方民の有する特異性を擁護し督勵せんとするのであつて、從つて事實上農民指導者學校といふことになるのである。斯る目的に資すべき課業は、獨乙民族の歷史的形成、宗敎史、社會的經濟的問題、鄕士誌、祖國誌獨乙物語、詩等を含むものである。尙女子講習會にては家事經濟、裁縫、園藝等が加へられる。授業は何れも三週間乃至三箇月間繼續せられるが、一般に農業專門敎育の準備敎育として望ましきものである。同樣な學校は、北ドイツに五校、ヘッセンに一校、ヴュルテムブルクに一校あり、又最近バーデルボルンにカトリック敎農村女子青年學校(Schule für katholische Jung-bäuerinnen. Paderborn)が作られ、新敎の敎義を根本とする青年舍(Jungmänner Heim)の類型は、アイゼナッハ(Eisenach)にあるハインスタイン塾(Haus Heinstein)が代表的なものであつて、醫學的な問題に關する講演及び基礎的知識の補習等も倂せ行はれてゐる。この參加者は凡ゆる階級のもの、殊に十八歲乃至二十歲の青年勞働者であつて、この塾は旣に民衆大學の限界へ達してゐる。次にチューリンゲンでは、バード・ベルカ(Bad Berka)にある獨乙鄕土學校(Deutsche Heimat Schule)が民衆的な立脚點を代表してゐる。學校の休暇中に鄕土講習竝びに隣接都市に關する幾多の講演、獨逸祖國の精神より發達せる公民敎育が行はれる。講演及び討論は各々二十五名の男女が集まるのであるが、一般に此の場合男女による區別は設けない。オーベルシュレージエンのナイッセ・ノイランド((Neisse-Neuland in Oberschlesien)では、其地方的な必要から生じた興味ある混合形態を示して居る。附屬の民衆敎育館には、凡ゆる種類の民衆敎育的な催をする場所が設けられて居り殊に敎師、牧師、勞働者、手工業者、商人竝びに青年のために短期及び長期の講習を催すことも出來る。この中間民衆大學の管理及び敎師は、事實カトリック敎的のものであるが、然し不偏不當なむしろ情操の健全な態度に重きを置いて居る。之と關連せる女子

民衆大學は、年二回の講習を開いて居り、人生といふ散文に對する明確な理解と確つかりした內心を與へんとするのである。料理、洗濯、裁縫の如き實習科目と竝んで特に趣味としての音樂も大切なものとして居る。更に中間民衆大學としては、特にシュレスウィッヒ及びオーベルシュレジエンに在るものを擧げなければならない。これ等の學校では特に獨乙國粹(Leck. Rontsburg)とか、基督教的(Reichenbach)とか、或は獨自の實習農場を設けて農業專門(Berghof)とか云ふことを强調して居るのである。社會主義的なものでは先述のティンツ(Tinz)(前參照)の民衆大學の外には、ザクセンのツーム(Thum)に學校があり、これは特に宗教社會主義的、生活革新的な旗印を揭げて居るものである。又デュレンブルグ(Dürrenburg)のザーレにあるのは、金屬勞働者學校であり、最近開かれたベルナウ(Bernau)のは使用人學校である。然し一々數多い學校の夫々の目的、任務を數へ上げることは煩はしいことであるから、話を再び元の塾にもどすが、塾は常に自由民衆敎育の思想が中心をなして居る のである。さて、ホーエン ローテル・ブンドの精神にて活動してる三つのものを擧げると、アンゲルマン(Angermann)の指導の下にあるザクセンブルグ(Sachsenburg)のもの、ボイエルレ(Bäuerle)に指導されてゐるシュヴーベンのコムブルグ(Comburg)、及びレーヴェンブルグ(Löwenburg)にあるボーベル塾(Bober)である。これ等個々の學校の形は何れも相異して居るので あるが、然し青年卽勞働者に對してその生活決定を助力し、彼の仕事に責任を持ち得る如くになさんとする努力に於ては、軌を一つにして居るのである。授業は世界觀、法律、政治、敎育、經濟、藝術生活と體驗、心理學及歷史等の問題を確實に扱ふのである。ザクセンブルグ及びコンブルグに於ける講習は、國家の關與を受けて活動して居るのであるが、四十人迄の參加者で四箇月間繼續するのである。(第二回は男子のみ)レーヴェンベルグでは男女合併十人の參加者で一箇月間繼續する。此所では、決つた講習の外尙固定せぬ所謂「自由の時間」があり、其の時間には共同訓練にだけ一

定の仕事が與へられる。さて最後にボンメルンのダルス(Darsz)にあるプレロウ(Prerow)の民衆大學塾を擧けよう。この塾は指導者フリッツ・クラット(Fritz Klatt)の人格に依つて獨特の横顏を有して居る。彼は、各個人の日常生活、職業生活にて兎もすれば萎縮し勝ちの精力を、自然界のリズムと關連して藝術的製作と觀照により生氣付け活動せしめんとするのである。斯る根底に基いて、二週乃至五週間の講習で現代といふ一つの合成物に付て論述し、闡明するのであつて、常に專門的な臨時の講師もこれに加はるのである。最近のプログラムのみを拾つて見ると、「生體文化と言語文化」「機械化時代の宗教的轉回」「權力の主張と新聞の現實な範圍」。時々職業集團(書籍商人B C W Aの徒弟及び青年勞働者)の講習がある。組織的な肉體的、精神的保養に力を致して居るのである。而してこの場合、毎日五マルクの費用は必ずしも凡ての階級のものが調達し得るものとは言へない。殊に他の塾の費用と比較して見ると判ることであるが、通常は平均二マルク若くは四〇日の賃金が三箇月分に相當する位なのである。上述のことを更に詳しく述べ或は漸次半日塾(Halbtagsheim)休暇塾(Ferienheim)、職業學校塾(Berufsschuleheim)及び團體塾(Vereinsheim)の方まで論を進めることは此の場合餘分である。尙上述せる二三の塾は夜間民衆大學塾を併置して居る截然たる特徵を有する繼續的な寄宿學校(Internatsschule)は、大戰後の種々の條件より生じたもので、既に民族の中に可成の功績を殘して居る。最後に構成に關する統計を揭げよう。尤も、この統計は既に三年前のものであり、約二十四箇所のその間に新設せられたものを附加しなければならないものである。男女交互に催す講習二十八、男子のみのもの十二、女子のみのもの四、男女混合のもの八である。期間に付ては、一箇月乃至三箇月のもの十七、三箇月乃至六箇月のもの二十九、九箇月乃至十二箇月のもの六である。その世界觀としては、新敎的な根本思想によるもの二十四、カトリック敎二、獨乙國粹的のもの十三、社會主義的のもの四であり別段の方向によらさるもの九である。

(ロ) 夜間民衆大學講習

民衆大學塾が共同生活を通じての勞作の中に、特別な敎育的意義を有するものとすれば、口述に依る成人敎育の他の一形態である夜間民衆大學には又別な任務があてがはれねばならない。即ち夜間民衆大學では——殊に大都市では屢々見受けることであるが——凡ゆる階級の人々が、又可成り年取つた人も加はつて、一寸夕方の二時間位集合するのである。而して此の場合特に注意しなければならないことは、餘りお盛澤山になつて却つて生半可な似非敎育になつてしまうといふ樣な滑稽を演ずることのないようにすべきことである。これは五十年來の一般的な講演制度に非常な——と云つてまだ殘念乍ら不充分なのだが——損失を來したものである。他面旣に組織化されて、日常の政治的問題に對して基準を求めて居る人々に對する固定的な職員敎育若しくは黨敎育なるものが存するのである。これ等のものは民衆大學には入らず、勞働者敎育學校、職工組合講習、或はマルキシズム勞働者學校等に入る。而して斯るものの中間には又、所與の主義方針に基いて敎育し、しかも、ある國粹的な民衆大學やカトリック敎的民衆大學の樣に、その結果の如何は問題にしない施設も存するのである。その他立脚點、その强調する一定の敎材、否それのみならず敎授法に於ても容易に統一性が與へられないのであつて依然として混沌たる多數なのである。

獨逸民衆大學國家聯盟 (Der Reichsverband der Deutschen Volkshochschule.) は民衆敎育事業並びに組織に對し、次の如き準則を掲げてゐるに過ぎない。

(1) 强度の民衆敎育事業たるべきこと。即ち娯樂場乃至は氣分轉換の場所なるべからず。

(2) 正規の敎程及び休暇。

(3) 指導者は民衆大學敎育の專門家たるべきこと。

(4) 聽講者中斯る指導者の手足となり働くべき者の存すること。

(5) 聽講者の本質的な部分は、勞働者、被傭人及び下級官吏とす。

(6) 民衆敎育の會議及びその問題に關する共同勞作。

斯くてその固有の活動領域として存するものは經濟的精神的生活の過程及び現象を釋明し、思惟の方法を訓練し、現代社會の形態研究、更に又一定限度の聽講者の心的要求の滿足である。

民衆大學が如何に普及して居るかといふことは、國家聯盟に屬するもの丶數が二百十五を算するといふ事實に注目すれば判るであらう。獨逸大都市五十一市中斯る施設のなきもの九都市であつて、その故は、これ等の都市は工場地帶にあつて、その近接地に、これと異なる他の施設を有するが故である。プロイセン、ザクセン及びチューリンゲンが最も盛である。一九一九年中に設立せられたるもの百三十九を算するのである。具體的な觀點に從つて分類することは頗る困難なることに屬する。何者れば聽講者及び民衆大學を維持して居る團體、市町村、聯盟等には各種各樣の政治的、世界觀的な因子が作用するからである。然し大多數の場合「中立性」なることに力を注いで居るのである。その故は、人は樣々な可能な立場を有し得るものであり、且つこれが相錯綜して居るものであると云ふ意味からである。即ち都市行政が影響を及ぼす場合には直ちに各種の政治的團體の勢力關係に依つて中和せられるのである。その他の點に就ては、斯る結果は社會學、世界觀論及び哲學を扱ふ場合のみ重要性を有する。其他には具體的內容が內容として前面へ現はれて來るのであり、或るイデオロギー的な勢力の契機は、多く後退するのである。然し個々の課業の講座が、數字的に如何なる關係にあるかと云ふことは重要なことである。而してこの點に關しては全く區々であつ

て、例へばデュッセルドルフでは哲學が（生物學、世界觀論、教育學　心理學を含む）十三、宗教が九、藝術（音樂、舞踊を含む）十四、文學及び言語が八であるが、これに對して國家學（社會學、經濟學、及び法律學を含む）は僅々八であり、地理が一、自然科學及び數學が五である。これと正反對なのは例へばドレスデンで强度の社會主義的な臭味を有するのである。社會學（歷史は一流の方法で律せられる）九、文學及び實用語九、藝術及び技術八、哲學は僅か五、地理學三、自然科學は五である。又例へばニュルンベルクでは主として實地の上の進歩といふことに重きを置いて居り、身體をつくること、語學の講座がその他の學科に比して多いのである。本來の教育的なるものゝ限界は、何處で盡きるかと云ふに、その取扱は實に、まち〳〵であつて、時としては自然科學に置かれ、或は洗練された藝術舞踊にも及び、著しきは社交ダンスまでも授業課目中に採入れて居るものもあるのである。だが恐らくは、速記、家政、料理の講習等が最外部的のものであらう。

興味あることは、綱領の各種各樣の表現と、その對峙である。例へば、ウィースバーデンの如くに、全く實地と云ふことを目標として居る學校では殆んど凡ゆる語學を教へて居り（ラテン語すらも）更に又廣告用の大文字、廣告の效果、市場研究、損益對照表を如何に讀むべきか、等も教へ、斯くてその大さ七倍もあるハムブルブに比し、約半數の聽講者を誘致して居る。然るに若し小仕事やエスペラントを專門講習中に數へないとするなら、エッセンでは專門教育を行つて居ないと云ふことになる。これに對し夏期だけで、百〇八のイデオロギー的な講習が行はれてゐる。然しその內四だけが公民學及び國民經濟學を扱つてゐるのである。而してこれ等何れの講習にても、中立性の問題は全く一樣に解決されて居る。その故は同一施設中に四ッのグループ（新教、カトリック教、自由的及び中性）が合一されてゐるのであつて、此處では同し家根の下で「プロレタリヤ大衆鬪爭の一部としての婦人開放」「最近に於ける養禽の實際に對する飼養の理論の意義」「カトリック教主義と國際的協調」等が扱はれて居る。然し必ずしも常に此處に言ふ如く多趣多樣であるとは限らないし、又職工組合學校に於ける如く緊密に又目的に結付けて居るとも限らないのである。職工組合學校では二十の講座が行はれてゐるが、經營學、經濟學、社會衞生學、國際勞働局等の研究をなし、その教程は七十乃至八十時間に及んでゐる。大多數の學校は、この兩極端の中間に位する。而して常に區別の要點となるのは、專門的教育及び技術の完成なることが――それが藝術乃至は言語に關するとしても――特に强調せられるや、或は又世界觀的な要求が强調せられるやと云ふこと、又視野を擴くするのに現實的な事實によるか、理論的な事實に基くかと云ふことである。而してこの場合必要とする均衡を得るに際して特に考慮すべきことは、民衆大學にて單に外的な成巧への途を知らんとして居る人は――而も斯る人々は今日益々增加しつゝあるが――結局大成するものではないといふ事實である。

各種の民衆大學事業に對して、その特徵となる最後のものはその方法である。先づ外的に見るならば、講演及びこれに附隨した討論を行ふか、口頭試問を行ふか、實地授業をなすか、嚴しい勞作共同に重きをおくか否かと云ふ樣なことであるが、勿論これには樣々な形式が併存し、又その教材にも關係のあることであるが、然し此の場合結局如何なることが企圖せられるやと云ふことに依つて決せらるべきものである。卽ちインスピレーションを與へんとするか、知識を博めんとするか、思惟の方法を授けんとするか、或は又教育的內容あるものを齎らさんとするか、或は世界觀のために努力せんとするかに依るものである。斯る區別の要點たる目的が擁護せられ且つ具體化せられ或は少くも具體化せんと努力せられてゐるのである。然し此處にはこれ等のものを比較商量すべき餘裕を有しない。その故は、斯る問題を取扱ふのは、直ちに學說上の迷路に踏み入ることになるからである。教育的な效果は然し此の場合も矢張り

方針の强度よりは寧ろ水準線とその才能に依存すること大なるものがある。自由に來集する參加者は、常に人生に於て必要とするものを確かりと敎へ込まれるのであつて、これを如何に限定するかと云ふことは區々であるが、然し單に敎材を仲介すること、詰込式敎授、持寄りの世界觀若くば所信を述べ立てること等は全々不適當なりとなされてゐる點は常に軌を一つにしてゐるのである。勞作共同卽ち、實生活に携はつて居る人の實地の經驗に結び付けられて居る勞働敎育が、所與の根底である。如何に嚴密に遂行し得るか或は無秩序となつてしまうかと云ふことは、主として實地に於ける興味の喚起、政治的生活の敎育或は文化問題の取扱等が色々の意味に於て强調せられるや否やと云ふことに依存するのであつて、このことに關しては先に述べた所である。斯くて敎授法の問題が、民衆大學事業に對する本來の鍵であり、又これに關して絕へず議論が沸騰して居る所以も了解せられることゝ思ふ。此の場合勞作が密に形成せられる程、本來の擴張及び數的な參加は制約を受けるといふことに注目すべきである。參加者が十五乃至二十名位の小集團が理想的であるが、然しこれは財政の許す場合にのみ、卽ち一定の自治體よりの補助金が參加者の數を條件としてゐない場合にのみ可能なのである。一般に民衆大學に關しては、數及び概要は充分には與へられて居ないのであつて、エッセンでは、講習の平均總講者數は二十七名であるが、ウィースバーデンにては十六名、ドレスデンは三十五名、大ベルリン市に於ける民衆大學では十五名、フンボルト大學（Humboldt. Berlin）二十七名である。一箇年に開催された數八百二十五、入學者二萬二千九百人で如何に大事業であるかゞ示されて居る。斯る結果の中に、相互的に作用して居る各種の因子を、單に勞作の中に求むべきでなく、組織、圖書館との共同作用、場所の選擇及び――想ひ付にも求むべきである。このことは、各々の大學の大さに於ても同樣であつて、大要を示すものとして、住民の約一%が講習の參加者としても、この數字は常に動搖を免かれないのである。男子總講者數の女子總講者數に對する關係は、全く區々である。勞働者、手工業者及び年齡二十五歲以上の者が大多數を占めて居ると云ふ場合には、斷然男子が優勢である。事務員及び商人にあつては、年齡は非常な差があつて、全體としては男女双方が平衡を保つて居る。普通人が主なる場合は女子の方が多數を占めて居る。ハムブルグにては、大體男女參加者數は同數であるが、職業別の統計を發表して居る。これに依ると、男子に就ては

勞働者、手工業者及び家僕	三三・二五%
商人及び事務員	五三・二二%
自由職業者及び敎師	一二・八七%
無　職　者	〇・六六%

女子の總數を上記の表に從つて四つに分けると、そのパーセンテーチは

勞働者、手工業者及家婢	一〇・二七%
商人及び事務員	四三・二〇%
自由職業者及敎師	一八・六〇%
無　　業	二七・六三%

民衆大學が他の形態、例へば圖書館、藝術團體、スポーツ團體等と組織的に協力してこれ等の努力を自己の內へ採入れるとなると、その形は本質的な變形を受けるであらう。

五、成人教育に於ける藝術、音樂、鄕土、職業

種々の政治的、教育學的な諸傾向に影響をうけることなく、客觀的な文化價値より出發して、成人教育の途を拓くべき基礎を藝術の内に見出したと信じたのは、つい三〇年前のことであつた。民衆娯樂の夕、デューレル同盟、藝術番人（Kunstwart）とか或はリヒトヴルクやアヴェナリウスの名と共に、今日も尚斯る事業は繼續せられて居るのである。これ等のものゝ働に依つて、趣味が善導せられ、生活文化が高められたのであるが、然し國民は、その階級的運命に付ては殆んど何等得る處がなかつたのである。その故は、成人教育にては、美學的のものではなく、唯社會的なるもののゝみが力點となり得るが故である。斯るが故に同時代から發生した民衆劇場は非常な發展を來たしたのであつて、社會的藝術的理念（自然主義）より成長し、民衆教育的な共同の目的を以つて、大戰直後、心的物的の力の大きな奔流を經驗して、その有する强固な組織に依つて今日では强大な教育的要素を成して居るのである。その演出方法は世人の知る如くである。劇場を埋める觀客は偶然的な入場者ではなくて、關心を有する觀劇團體である。この團體は上演プログラムを定める時、催の順序及び適當とする入場料等に關する共同決定權を有し、その事業に對し又屢々相互的にも緊密な關係に立つて居るのである。ベルリン市に於ける樣に、斯樣な目的のために固有の劇場を有する處に於ては又同時にこれと類似の事業例へば、新藝術舞踊、團體舞踊、吟唱合唱、音樂會、藝術講演の如きものを催し、且これを奬勵する機會が與へられるのである。而して政治的羈絆は存しないのであるが、然し斯る勞作は社會主義的な理念に依つて運ばれて居るのである。其水準は有力な作家や民衆教育家等の代表から成る藝術委員會（Künstlerischer Ausschuss）にて保證せられるのである。又特種の雜誌「民衆劇場」（Volksbühne）を發行して、幾多の理論的、實際的な問題に關する知識を與へて居る。固より民衆劇場は單に安價に入場出來る劇場としか考へて居ない樣な消極的な者も會員中に存するのであるが、これも止むを得ないことであり、又それ程重大なことでもない。この外劇場民衆同盟（Bühnenvolksbund）なるものが存する。これは獨逸キリスト教の根本精神に基き、劇場の改革のために努力して居るのであつて、殊にこの團體は、上述せる如き意義にて既存の劇場の上演プログラムに迄その勢力を及ほし、觀劇者團體を通じて督勵して居るのである。又宗教的（新教的・カトリック教的）な契機も重要な役割を演じて居る。劇場民衆同盟はその外、殊に鄕土劇（素人芝居、耶蘇受難劇、宗派劇）、人形芝居、及び青年運動より出發して永續的な演劇團を有する青年劇等の維持、研究のために、移動劇場を通じて活動して居る。この目的のための「テキスト」及び機關誌「國民劇場」（Das Nationaltheater）を發行して、その活動の完璧を期して居る。其他の事業としては尙、民衆教育協會のマルクブランデンブルグの移動劇場を揭ぐべきであらう。

斯る問題が素人によつて追求せられる限に於ては、その問題は民衆藝術の領域に入り込んで行くのであつて、この民衆藝術たるや、その造型美術に對する關係に於ては一つの幻像として消失し、屢々唯單に衣裳劇、農民描寫として維持せられて居るのであつて、民衆に藝術の體驗を得させんとする運動として、樣々な演劇事業の内に、又音樂の領域中に存立するのである。この外に多くの夜間民衆大學及び私の團體にては、形態及び色彩描寫に對して、民衆の中に假睡して居る力及び素質を呼醒す可能性が存する。その骨組となるものは圖畫の講座である。而して大多數の講習や遠足は何れも、充分效果的なる藝術觀察とか、再生的藝術訓練なる名目の下に爲されて居り、これは又博物館がその指導によつて協力して居るものなのである。

更に又藝術作品を所有することに依つて、それに對する興味を普及し、深めんとする企も亦これに屬するものであ

る。先述せる圖書組合（圖書館の章參照）と照應して、同じ樣なる條件の下に、藝術組合が活動して居るが、是等の內獨逸藝術組合（Deutsche Kunstgemeinschaft）及び「現代の藝術」（Kunst der Zeit）の名を擧ぐべきである。

以上と關連して、特種の民衆藝術を擧げねばならないが、これは勞働者の休息時間に於ける慣れた吟誦合唱とか、小工藝で既に一つの慣例となつて居り、ロシヤのプロレタリヤ文化に於て一層の發展をなして居るものである。

音樂は頗る廣汎に亘るものである。單純な音樂、民謠、マドリガル、又小管弦樂等の共同練習と系統的な授業によつて民衆音樂學校で敎へられるのであつて、斯樣な民衆音樂學校は六ヶ所に存する。（Hamburg. Charlottenburg. Neukölln. Magdeburg. Stuttgart. Düsseldorf）「公開の合唱 時間」で廣く社會一般に交涉する。又多くの夜間民衆大學には特別な合唱團が作られて居り、これは練習を兼ねて、儀式の場合等にも行ふのであるが、本來の擔任者は樂手組合（Musikantengild）であつて二百五十を算し、その所屬員は五千名に達するが、主として十八歲乃至二十五歲の青年より成つて居り、フリッツ・イェーデ（Fritz Jöde）の指導の下に純正な民衆音樂の復活に力を致して居るのである。

又家庭音樂の奬勵のための努力や藝術音樂の擴張のための催し等に關する事柄も單純に觀過するを得ない。而して如何なる程度までこれが民衆敎育事業の內に取入れらるべきかと云ふことは、理論上決定することは出來ない。立派な音樂會となると金がかゝるのであるから、民衆敎育團體や、更に又民衆劇場及び民衆敎育局は、民衆に安價に音樂を樂しむことを得させる樣に盡力して居るのである。藝術舞踊に對しても同樣である。最後に二十八ヶ所ある音樂圖書館を揭ぐべきであるが、これは獨立の部門として、民衆圖書館中に編入せられて居るのである。

鄕土擁護なることは、成人敎育の領域に於て相當重要な意義を有するのである。然し凡て感傷的に護立てると云ふことは、明かに軌道を逸したものである。邊避な地方に於て僞されて居る有用な勞作に就ては、既に圖書館及び民衆大學の章にて述べた處である。獨逸鄕土保護聯盟（Deutscher Bund Heimatschutz）は、成人學校と結合してる鄕土博物館と共に、極力、自然保護竝びに民衆藝術保護に力を致して居り、これ等のものは一つの國家聯盟を成して居る。

最後に、職業敎育は、その目的が限定されて居るのであつて、從つてそれが專門的な敎育に關する限に於ては、成人敎育の圈外に位するが、第一に所謂「生活範圍」に迄擴充して居ることが決定的な特色である。これに關しては勞働者敎育に關連して既述せる處である。自由社會主義大學、民衆大學塾、及び夜間學校を有する職工組合學校、フランクフルトの勞働大學、デュルレンベルク、（金屬勞働組合の）ハンノーフェルのヴェンニンゲン（工場勞働組合）にある經濟學校等がこれに屬するのである。又獨逸政治大學（Die deutsche Hochschule für Politik）は特に專門敎育を授けて居る。ベルリンにある夜間高等學校は、怱がせにせられて居る知識を補ひ、大學入學資格を得させんとするのである。又二、三の女子民衆大學では家政敎育を行つて居るが、農民大學同樣これに就ては既述した處である。

六、映畫、ラヂオの成人敎育に對する關係

元來映畫にしても、ラヂオにしても、成人敎育とは無關係に成立し、發展して來たのであつた。而して今や全く資本の掌中に入り、一つの「工業」と化してしまつた映畫に對しては、經濟的に働きかけざる限りは、如何なる影響も效果を生じないであらう。然し乍らこのことは、二種の方法で行はれて居るのであつて、即ちその一つは所謂「ランペ委員會」（Lampe-Ausschuss）（その指導者の名に依つて）でありこの委員會は、敎育及授業中央協會（Zentralinstitut für Erziehung und Unterricht）に、映畫の民衆敎育的、藝術的性質に關する自由映畫審査所（freiwillige Prüfungs-

stelle für filme) を設けて居るのであつて、此處で認定せられた映畫は敎育行政に採用せられ、減稅を受けることが出來る。斯くて映畫と敎育との橋渡がなされるのであつて、これは獨逸活動寫眞聯盟 (Deutscher Bildspielbund)(相談、文獻の根本的說明により)及びベルリン市映畫硏究課が極力奬勵して居るのである。

次に今一つの方面では一大需要者團體を通じて、水準を高めんとする目的から映畫製作に壓力を加へんとして居る。斯る目的への努力は民衆劇場でも續けて居り、又民衆映畫同盟も共產主義的な黨勢力のために、同盟自身が行詰るに至つた時迄は、その當初に具體化して居たのであつた。映畫に對して、その最高度の效驗を標準としての評價に基いての民衆敎育的作用を將來歸屬せしめ得るかといふことは疑問である。

寫眞は敎材として優れたものであるが、貸出も出來る公設の大文庫が出來るなら、一層利用せられるに至るであらう。一々寫眞を作るとなると面倒であるし、又多くの場合その負擔にも堪えられないのである。ハンノーフェル州立寫眞部、民衆敎育協會及び二、三の博物館は從來倚離れば離れに存立して居る。

ラヂオは多數人に役立たされることを要するし、成人敎育を字義通りに發表せんと努力してゐるのである。極めて邊僻な地方へでも、凡ゆる內外の時事問題を知らしめることの價値を知らねばならない。然し他面云ふ迄もなく、遠距離作用によつて本來の形成的な民衆敎育を期待することは出來ない。或程度の監督、或は放送プログラムに幾分の干涉をすると云ふことが、世界觀的に色々な立場にあるラヂオ聽取者團體の目的であり、又目的たり得るものである。例へば勞働者ラヂオ同盟 (Arbeiter-Radio-Bund) 及び(社會主義的)自由ラヂオ本部 (Freie Radio-Zentrale) は、多くの放送局に、勞働者の立場及びその精神的利益のための常設の「勞働者の時間」を設くることに成功したのである。ラヂオの民衆敎育に對する重要なる意義は、主として講座及樣々の方向に於ける正路を見出し得る可能性に存する。又圖書の時間も重要であつて、良書を知らしめ讀書を促さんとするのである。特種の地位を占めて居るものとして „Deutsche Welle" 放送局がある。この放送局は敎育及び授業中央協會と協力して、特に敎育放送及び學校ラヂオを設けて、凡ての點から見て連行指導者となつて居るのであるが本文にては、これ以上、論述する必要はないと思はれる。注意すべきことは、民衆敎育と云ふ方面から、レコードが價値を認められる樣になつたことである。然乍ら、レコードは敎育材料として有用であると云ふに止るのであつて、勿論民衆敎育の擔當者ではあり得ない。

展覽會及び大市等は、多くの場合その本來の目的內に取殘された儘にしてあり、唯時折民衆大學事業の內へ引入られると云ふ事實は元來その形態の內に時代の生命を表現して居り、又一摑に要點の觀察をなし得るものであるが故に注意を喚起すべきである。

七、民衆敎育者の養成

成人敎育を、その範圍及び要求に就て一通り論究した後、更に成人敎育の社會的連鎖にとつて、何人が實行者即ち民衆敎育者であるか、如何にして彼等を得、又敎育するかといふ事が重要であることを知らねばならない。然し民衆敎育者なるものは、未だ一定の準備敎育、修業、仕事を伴ふ一元的な職業を形成するに至つて居ないのである。卽ち勞作の多樣性、社會・官邊に於ける認識不足及びこれに伴つて生ずる多數の民衆敎育施設の財政的不安――否それのみならず今日も尙成人敎育がそれに依つてなされて居るといふ事實を屢々見受けられる一種の道樂すらも存するのである。唯に高度の敎育的の圓熟のみならず、時代の事象に對する充分な洞察力と應用力及び聽講者又讀者の社會的層に付き、思惟の形式から交友の種類に至る迄詳細に觀察すること等これ等凡てのものは、遣り甲斐ある此の職務の不可

缺なる前提をなすものである。從來は民衆圖書館に關してのみ一定の理論が確立せられて居るのであつて、これは、Berlin. Köln. Bonn. Essen 及び Dresden の專門學校で扱はれて居り「中等職務免狀試驗」を以つて終るのである。プロイセンにては更にこの外、科學圖書館が結合せられて居る。女子が卒業生の大部分を占めて居る。大都市にあつては、指導的な地位に立つものには、完全な大學敎育と實地の經驗が要求せられて居る。地方及び小都市に於ける圖書館事業は、多く兼職の職員に依つて行はれて居り、現在では殆ど敎員がこれに當つて居る。これ等の敎員は特別な講習及び相談所との連絡に依つて、近代的な要求の狀況を知るのである。民衆大學にあつては敎員のみであり、夜間民衆大學の二十七名の校長が專任として活動して居る。その他の指導者、職員(大學敎授、學務委員、敎師、圖書館員、編輯人等)もそれが敎育學、若くは成人敎育に關すると、或は又新聞、出版物等に依るとに拘らず、多くの場合何等かの內的或は外的な關係を有するのである。

上述せる成人敎育の敎員の資格は現在の處では、各個人の質に準據して居るが、將來は養成科を設けんと努力されて居るのであつて、その敎程は民族硏究、成人敎育學、心理學、社會學及び特種科目を包含せねばならないであらう。斯る方策は、今日略々示されて居るのであつて、職業學校制度及び敎員養成の新しい規定により間接に新機軸に直面したのである。勿論他面この目的のために新しく資金が如何程準備せられねばならないかを愼重に商量したなら、自ら分明せらるべき幾多の障碍が存するのである。而して、その如何なるものが又如何なる程度まで貫徹せられるかと云ふこと、從つて又、成人敎育の狀態一般は一つの文化政策である。

Klaus Berger, Die Erwachsenenbildung in Deutschland. („PÄDAGOGISCHES ZENTRALBLATT" 1930, Heft 6.) に據る。

昭和七年二月二十三日印刷
昭和七年二月二十五日發行

文部省

印刷者　東京市京橋區京橋二丁目十三番地　佐々木恒太郎

印刷所　東京市京橋區京橋二丁目十三番地　東亞印刷株式會社